

平成30年7月9日  
高知県総務部情報政策課

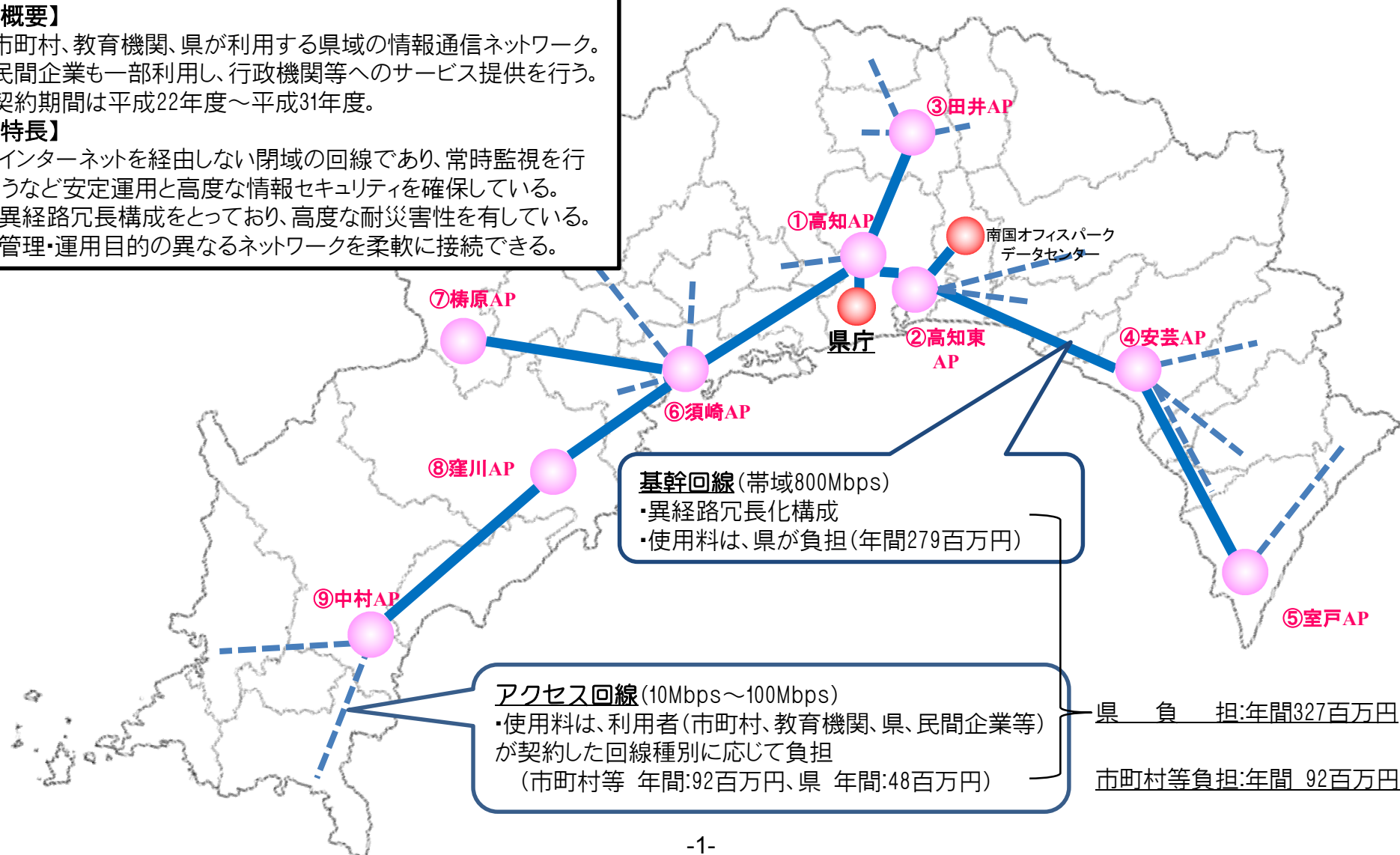
# 高知県情報ハイウェイのイメージ

## 【概要】

市町村、教育機関、県が利用する県域の情報通信ネットワーク。  
民間企業も一部利用し、行政機関等へのサービス提供を行う。  
契約期間は平成22年度～平成31年度。

## 【特長】

- ・インターネットを経由しない閉域の回線であり、常時監視を行うなど安定運用と高度な情報セキュリティを確保している。
- ・異経路冗長構成をとっており、高度な耐災害性を有している。
- ・管理・運用目的の異なるネットワークを柔軟に接続できる。



# 歴代情報ハイウェイの概要

	初代(情報スーパーハイウェイ) NTT西日本	2代目(新情報ハイウェイ) NTTコムウェア	2. 5代目(新情報ハイウェイ) NTTコムウェア	3代目(情報ハイウェイ) (株)STNet
運用年度	H10～14年度(5年間)	H15年度～18年度(4年間)	H19～21年度(3年間)	H22～31年度(10年間)
目的	<p>・こうち2001プランの各種情報プロジェクトを実現、地域格差のない行政サービスを提供するための情報通信基盤</p> <p>(県内どこからでも格差なく(3分10円)公共情報や公共サービスが受けられる環境の構築)</p>	<p>・県・市町村及び県内の教育機関等の情報通信基盤</p> <p>・余剰帯域を民間に開放し、BB未整備地域の解消等を図る</p> <p>(高速ネットワークを整備することで、産業振興につながるとの考えに基づき、民間開放を前提に整備)</p>	2代目を3年間延長。	<p>・県・市町村及び県内の教育機関等の情報通信基盤</p> <p>・余剰帯域を民間に開放し、BB未整備地域の解消等を図る</p> <p>(必要帯域を必要最小限に絞るとともに、契約期間を10年間とすることで競争原理を導入し、コスト削減を図る)</p>
幹線帯域	<p>基幹回線(土佐山田～中村間) :50Mbps</p> <p>支線:1. 5Mbps又は6Mbps</p>	<p>幹線:2. 4Gbps</p> <p>3リング構成で冗長化(二重化)</p>	同 左	<p>幹線:800Mbps</p> <p>(1Gbpsまでの拡張可能な構成)</p> <p>異経路により冗長化(二重化)</p>
アクセス回線	<p>・ダイヤルアップ(ISDN)</p> <p>・64Kbps, 128Kbps(専用線)</p> <p>・CATV網</p>	<p>①広域イーサネットサービス 10M(ベストエフォート、帯域確保)</p> <p>100M(ベストエフォート、帯域確保)</p> <p>②構内イーサネット接続 100M</p> <p>③地域IP網 フレッツADSL、ISDN</p> <p>④CATV網</p>	<p>左記の①②③④サービス中 ①に次のサービスを追加</p> <p>①広域イーサネットサービス 2M(ベストエフォート、帯域確保)</p> <p>5M(ベストエフォート、帯域確保)</p>	<p>左記に①②③④に加え、次の①③⑤⑥が追加拡大</p> <p>①広域イーサネットサービス 30M(ベストエフォート)</p> <p>50M(ベストエフォート、帯域確保)</p> <p>③地域IP網 フレッツ光 Bフレッツ</p> <p>⑤ピカラ光サービス(100Mベストエフォート)</p> <p>⑥移動通信網サービス(ドコモ)</p>
運用方法	通信回線の借り上げと運用委託(ATM交換機2台は県が調達)	民間の通信サービスを調達(県の機材はなし)	同 左	同 左
経費(税込)	総額 約24億5200万円 (約4億9000万円/年)	総額 約20億7100万円 (約5億2000万円/年)	総額 約13億6700万円 (約4億5000万円/年) ※長期継続契約による割引適用	総額 約27億3千万円 (2億7,340万円/年) ※10年間の平均値
調達方法	随意契約	プロポーザル方式(参加は1社のみ)	随意契約(更新を1年前倒しし期間延長、通算7年)	プロポーザル方式(3社参加)

# 検討会における検討事項とスケジュール

## 1 検討項目(例)

検討項目	現行
必要性	—
利用目的	主に行政・教育目的
利用方法	行政・教育事務、生徒・児童の授業・学習、 へき地医療ネットワーク・防災システム等
利用団体及び利用者	主に行政機関 ・BB未整備地域へのサービスなど公共性の高い用途に 一部提供
有すべき機能	800Mbps (最大1Gbpsまで拡張可能)
運営	県
費用負担のあり方	幹線: 県が全額負担 アクセス回線: 利用者負担
その他	—



## 2 スケジュール等

時期		検討会スケジュール等(情報政策課)	市町村等
H30年度	6月		・ニーズ調査 ・ヒアリング
	7月9日	第1回検討会 ・現行ハイウェイの利用状況・他府県の整備状況等 ・ネットワークサービスの現状説明(NTT、STNet) ・市町村等のニーズ調査の結果について	
	8月上旬	第2回検討会 ・ニーズ調査の結果について ・次期ハイウェイの方向性(素案)について ・次期ハイウェイの方向性(素案)に関する市町村等への意見照会について 事業者に事前見積りを依頼(RFI)	・意見照会 ・協議
	9月中旬	第3回検討会 ・次期ハイウェイの方向性(素案)に関する意見照会の結果について ・検討会としての方向性のとりまとめ	・方向性の提示
	11月	・予算要求	
	2月	・プロポーザル公告	
	3月	第4回検討会 ・プロポーザル実施に関する報告	・利用方針の提示
	4月	・プロポーザルの実施・契約	
H31年度	9月	・次期ハイウェイの構築完了・移行開始	・移行開始
H32年度	4月	・次期ハイウェイ正式運用	